

取扱説明書



EUROLIVE F1320D

Active 300-Watt 2-Way Monitor Speaker System with
12" Woofer, 1" Compression Driver and Feedback Filter

目次

ありがとう	2
安全にお使いいただくために	3
法的放棄.....	3
限定保証.....	3
1. ご使用前に	4
1.1 出荷.....	4
1.2 スタートアップ	4
2. コントロールパネルと接続端子類	4
2.1 上面部.....	4
2.2 側面部	5
3. 操作方法	5
3.1 音源の接続	5
3.2 複数の F1320D のリンク接続	6
3.3 F1320D をキーボードアンプとして使用する場合	6
3.4 ノッチフィルター	6
4. 接続とフォーマット	7
5. 技術仕様.....	7

ありがとう

BEHRINGER EUROLIVE F1320D モニタースピーカーシステムのお買い上げ、誠にありがとうございます。包括的な性能と高品位なトランスデューサーを備えたこの EUROLIVE F1320D アクティブフロアモニターシステムは、小 / 中規模ステージのライブやプレイバックで非常に洗練されたサウンドを提供します。入力セクションにはライン信号もしくはマイクを接続することができます。調節可能なフィードバックフィルターと内蔵リミッターによって、究極のシステムコントロールとスピーカー保護が実現、独立 3 バンド EQ を装備しているため、柔軟なモニターサウンドをクリエイトできます。

JP 安全にお使いいただくために



注意

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (¼" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。



注意

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。



注意

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。



注意

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。



注意

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使用してください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。
9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのもの

です。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるように手に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用時の運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。

17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いただけません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。



法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、MUSIC Group は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。MIDAS、KLARK TEKNIK、TURBOSOUND、BEHRINGER、BUGERA および DDA は MUSIC Group IP Ltd. の商標または登録商標です。© MUSIC Group IP Ltd. 2015 無断転用禁止。

限定保証

適用される保証条件と MUSIC Group の限定保証に関する概要については、オンライン上 music-group.com/warranty にて詳細をご確認ください。

1. ご使用の前に

1.1 出荷

製品は、安全な輸送のために工場出荷時に十分な注意を払って梱包しておりますが、万が一包装ダンボールが破損している場合は、機器の外面に破損がないことをご確認ください。

- ◇ 万が一機器に破損がある場合は、保証請求権が無効となることを防ぐために、製品を当社へ直接返送せずに、必ず販売代理店および運送会社までご連絡ください。
- ◇ 機器を保管したり輸送する場合は、破損を防ぐために、必ずオリジナルの梱包箱を使います。
- ◇ 機器や包装箱は子供の手の届かない場所に保管してください。
- ◇ 梱包材は環境保護に適した方法で廃棄します。

1.2 スタートアップ

十分な換気を確保し、過熱を防ぐために機器は暖房などのそばに設置しないでください。



注意

- ◇ ヒューズを交換する前には、感電や装置への損傷を防ぐため、コンセントを抜いて装置の電源を完全に切ってください。
- ◇ ヒューズが焦げた場合は、正しい値のヒューズと交換します。ヒューズの値については「技術仕様」の章をご覧ください。

電源アダプタージャックのヒューズホルダーには 3 つの三角形マークが記されています。このうち、2 つの三角形は向かい合った位置に記されています。この製品は、これらのマークの隣に記された起動電圧に設定されており、ヒューズを 180 度回転させると別の電圧に設定を変えることが出来ます。

電源への接続には付属の常温機器コネクター付き回路ケーブルを使用します。このケーブルは必要な安全基準を満たしています。

- ◇ すべての機器が正しく接地されていることを確認します。安全のために、機器や電源回路ケーブルからアース線を取り外したり使用不能にすることは絶対にしないでください。必ず正常な接地線をご使用のうえ、装置を電源網に接続してください。



注意

- ◇ スピーカーは大きな音量が出るように設計されています。音圧が高いと耳の疲れを早めるだけでなく、聴力に悪い影響を与えるおそれがあります。適度な音量でお使いください。



接続の際の注意 (重要)

- ◇ 電波の強い放送局や高周波音源の範囲内では、音質が減退する可能性があります。その場合は、送信機と機器の距離を離し、すべての接続にシールドケーブルを使用してください。

2. コントロールパネルと接続端子類

2.1 上面部

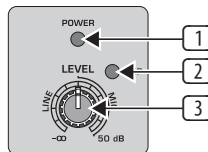


図 2.1 コントロールパネル第一グループ

- ① **LOW** コントローラーで低音を調節できます。
- ② 信号が過変調すると、**CLIP-LED** が点灯します。CLIP-LED が消灯するか、あるいは高い信号でのみ点灯するまで、LEVEL コントローラーで音量を下げます。
- ③ **LEVEL** コントローラーで、ライン信号と MIC 信号の音量を調節します。レベルの高いライン信号は調節帯域の左半分です。レベルの低い MIC 信号は右半分です。

レベル設定: 音声信号を流したまま、CLIP-LED ② がピークに達する寸前で点灯する程度まで LEVEL コントローラーを徐々に右へ廻してください。LED が常時点灯しないようお気をつけください。

- ◇ 音量が大きいと聴力に悪い影響を与え、ヘッドフォンやスピーカーの故障につながる可能性があります。機器をオンにする前に、LEVEL コントローラーを左の目盛りまで回してください。適度な音量でお使いください。

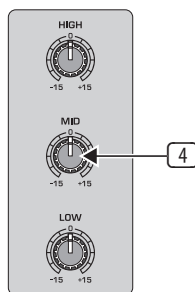


図 2.2 イコライザ

- ④ F1320D には 3 バンド EQ が備えられています。各バンドとも最大 15 dB のブースト / カットが行えます。センターポジションでは EQ はニュートラルとなります。

ハイバンド (**EQ HIGH**) およびローバンド (**EQ LOW**) は、スレシヨルドを超える、もしくは下回る周波数のブースト / カットを行うシェルビングフィルターとなっています。各スレシヨルド値は、それぞれ 12 kHz および 80 Hz となっています。ミッドバンド (**EQ MID**) は、2.5 kHz 付近をセンター周波数にもつピークフィルターとなっています。

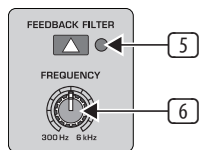


図 2.3 フィードバックフィルター (ノッチフィルター)

大きな音量もしくは非常に狭いステージ上での使用の際にはフィードバックが発生する場合があります。これを除去したい場合は、**FEEDBACK FILTER** 機能 (5), (6) を起動させてください。フィードバックフィルターの使用法に関しては、第 3.4 章「ノッチフィルター」をご覧ください。

- 5 このボタンを押すと、フィードバックフィルターが起動します。
- 6 このコントローラーでフィードバックフィルターのセンター周波数を設定します。

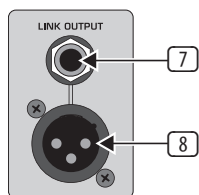


図 2.4 LINK OUTPUT

- 7 + 8 **LINK OUTPUT** 出力は、F1320D の入力と直接接続しており、未変調の入力信号を伝送します。そのため、信号を他の機器の入力 (2 台目の F1320D など) に送ることができます。

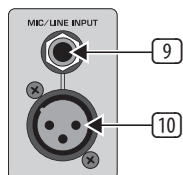


図 2.5 MIC/LINE INPUT

- 9 この 6.3 mm ステレオジャック端子はジャック出力付きの信号ソースとの接続に使用します。
 - 10 この XLR 端子は、XLR 出力付きの信号ソース用の左右対称入力です。
- ◆ **XLR 入力またはジャック入力を使用し、LEVEL コントローラーで入力感度を調節します。決して、2 つの入力を同時に使用しないでください。**

2.2 側面部

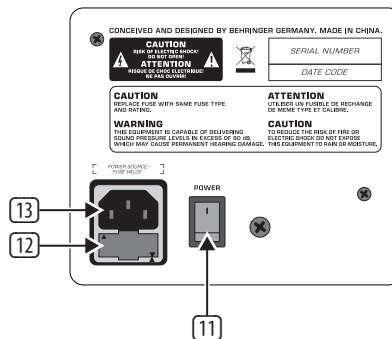


図 2.6 F1320D の側面部

- 11 **POWER** スイッチにより、F1320D の操作を始めてください。

◆ **注意: POWER スイッチを切ただけでは、電源が完全に切れたことにはなりませんので、長い間本ユニットを使用しない場合は電源コードをコンセント (主電源) から抜いてください。**

- 12 F1320D のヒューズホルダーでは、ヒューズを交換することができます。古いヒューズは、必ず同じタイプのヒューズと取り替えてください。ヒューズについては第 5 章「技術仕様」に記載があります。
- 13 電源への接続には標準コネクタを使用します。この装置には適合する電源コードが付属しています。低音のブーミングを防ぐために、スピーカーボックスとミキサーは同じ回路から電力を供給します。
- 14 シリアルナンバー。

3. 操作方法

F1320D をモニタースピーカーとして使用する場合は、ミキサーのモニター出力および AUX 出力から F1320D へ音声信号を送り込みます。同じモニターミックス信号を複数のスピーカーで使用したい場合は、1 台目の音声信号を LINK 出力を介して 2 台目の F1320D へ送り込みます。各 F1320D の音量は、それぞれ LEVEL コントローラーで調節可能です。

3.1 音源の接続

F1320D 一台とマイクが一本あれば、最小限度の労力で小規模な P.A. 環境を整えることが可能となります。キーボードや CD プレイヤー、またはミキサーの AUX センド出力といった外部機器からの音源は、F1320D の LINE 出力を介して操作することが可能となります。

音源の接続

- LEVEL コントローラーを左に廻しきってください。
- 音源となる音声信号を MIC/LINE 入力に接続してください。
- F1320D に電源を投入します。
- LEVEL コントローラーを徐々に右に廻して、お好みの音量に設定してください。音量レベルの目安には CLIP-LED をお使いください。信号がクリップする際に LED が一瞬点灯するのは問題ありませんが、常に点灯しないよう十分お気をつけください。



フィードバックに注意!

- ◇ マイクの高感度の取音部をスピーカーに向けないようにご注意ください。F1320D を取扱う際は、マイクとスピーカーとの距離を十分保つように心がけてください。

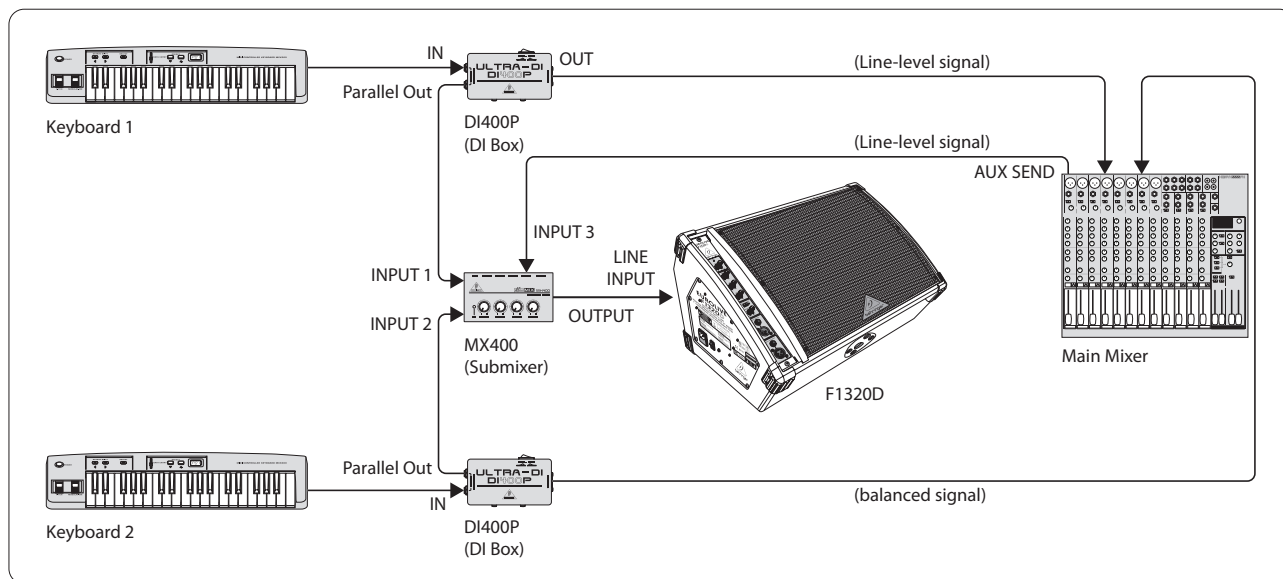


図 3.1 F1320D を 2 台のキーボードと使用する場合

3.2 複数の F1320D のリンク接続

比較的規模の大きなステージ環境で同じモニターミックスを使用したい場合は、ステージモニターの数を増やしてください。LINK 出力を介して 2 台の F1320D が接続できます。その際、1 台目の F1320D にマイク信号もしくはラインレベル信号が接続されていても問題ありません。

アクティブスピーカーを使用してのリンク接続

- 1 台目のスピーカーの LINK 出力と 2 台目のスピーカーの LINK 入力を相互に接続してください。

3.3 F1320D をキーボードアンプとして使用する場合

ギタリストおよびベーシストは、ステージ上で自分の楽器の音を聴くことができるように、たとえモニターシステムが使用するにしても、大概自身でアンプを所有しています。特に小さなステージでの演奏においては、こういったアンプでもステージ上の音量レベルに負けないだけの出力を備えています。しかし、キーボーディストとなると、自分でアンプを所有していない場合がほとんどでしょう。

F1320D では、キーボードが直接接続できるようになっています。2 台のキーボードを使用したい場合は、これらを一台のサブミキサー (MicroMIX MX400 など) でまとめ、ミキサー出力と F1320D の LINE 入力を相互接続するだけとなります。このサブミキサーに、ハウスマキサーから AUX / モニター信号を送り込めば、バンドの他のメンバーの演奏も一緒にモニターすることができます。

3.4 ノッチフィルター

ノッチフィルターは、使用信号に含まれる非常に狭い周波数帯域部分を削ぎ落とす役割を果たします。フィードバックなどの典型的な干渉ノイズは、しばしばある特定の周波数で発生するため、この機能を使ってこの帯域を効果的にカットすることができます。

干渉ノイズを特定したい場合は、このフィルター機能を起動させ、FREQUENCY コントローラーを左からゆっくりと右へ廻して行ってください。

- ◇ フィードバックが常に発生してしまう場合は、ラインレベル信号用に当社の FEEDBACK DESTROYER PRO FBQ2496 をお使いください。ラインレベル信号もしくはマイクレベルの調節用には、同じく当社の SHARK FBQ100 シグナルプロセッサをお勧めします。

4. 接続とフォーマット

ペリンガー F1320D のオーディオ入力と LINK OUTPUT 接続は左右対称に取り付けられています。他の機器と左右対称の信号伝送を行う際に使用して、妨害信号補正を最大化します。

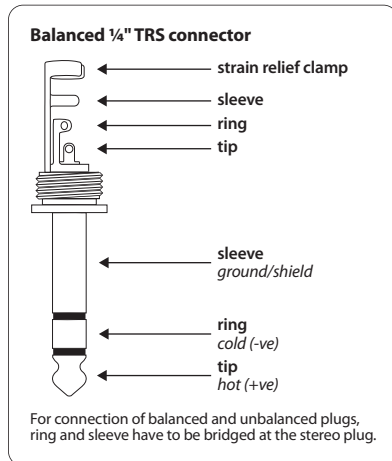


図 4.1 6.3 mm TRS コネクタ

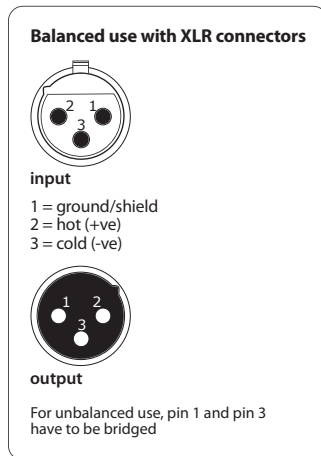


図 4.2 XLR コネクタ

- ◆ 機器のインストールとサービスは、必ず専門家だけが行うように注意してください。インストールの間そしてその後も操作する人は、常にアースするように注意してください。さもないと、静電気の漏洩によりシステムの特徴が損なわれる可能性があるからです。

5. 技術仕様

Output Power

Low-frequency range

RMS @ 1% THD 160 W @ 8 Ω

Peak Power 225 W @ 8 Ω

High-frequency range

RMS @ 1% THD 40 W @ 8 Ω

Peak Power 72 W @ 8 Ω

Mic/Line Inputs

XLR connector

Sensitivity -50 dBu to 0 dBu

Impedance 20 kΩ balanced, 30 kΩ unbalanced

1/4" TRS connector

Sensitivity -50 dBu to 0 dBu

Impedance 20 kΩ balanced, 30 kΩ unbalanced

Link Output

XLR connector

Equalizer

High 12 kHz / ±15 dB

Mid 2.5 kHz / ±15 dB

Low 80 Hz / ±15 dB

Feedback Filter

Filter frequency 300 Hz to 6 kHz

Level reduction max. 15 dB

Q factor 20

Loudspeaker System Data

Frequency range 60 Hz to 16 kHz (-10 dB)

Maximum sound pressure level 115 dB / 118 dB @ 1 m

Limiter optical

JP

Power Supply/Voltage (Fuses)

USA/Canada	120 V~, 60 Hz (T 4.0 A H 250 V)
UK/Australia	240 V~, 50 Hz (T 2.0 A H 250 V)
Europe	230 V~, 50 Hz (T 2.0 A H 250 V)
Korea	220 V~, 60 Hz (T 2.0 A H 250 V)
China	220 V~, 50 Hz (T 2.0 A H 250 V)
Japan	100 V~, 50/60 Hz (T 4.0 A H 250 V)
Power consumption	max. 300 Watts
Power supply	switch mode
Mains connection	standard IEC receptacle

Dimensions/Weight

Dimensions (H x W x D)	appr. 360 x 580 x 406 mm (14.2 x 22.8 x 16.0")
Weight	appr. 15.0 kg (33.1 lbs)



We Hear You